

氏名

記入例

良い例	●
悪い例	○

受験番号

①	②	③	④	⑤	⑥	⑦	⑧	⑨
①	②	③	④	⑤	⑥	⑦	⑧	⑨
①	②	③	④	⑤	⑥	⑦	⑧	⑨
①	②	③	④	⑤	⑥	⑦	⑧	⑨

用紙タテ上 こちらを上にしてください

1	(1)	1221	(2)	$\frac{11}{336}$	(3)	0.009	(4)	700
		5		5		5		5
	(5)	170	(6)	34	(7)	3.6	(8)	$\frac{100}{3}$
		5		5		5		5

2	(1)	<p>式や考え方</p> <p>床をできるだけ大きい正方形のタイルでしきつめるためには正方形の1辺の長さを2数の最大公約数にすればよい。 363と1122の最大公約数は33</p>	4
		<p>答え</p> <p>33 cm</p>	1

(2)	<p>式や考え方</p> <p>2026年3月31日は火曜日 365を7で割った余りは1より、365日後に曜日は1つ進む。 2028年は366日より 2029年3月31日は、曜日が1+2+1=4進んで土曜日</p>	4
	<p>答え</p> <p>土曜日</p>	1

(3)	<p>式や考え方</p> <p>りんご○円, みかん△円, バナナ□円とする。</p> <p>$\bigcirc + 2 \times \triangle + 3 \times \square = 480 \dots \textcircled{1}$ $2 \times \bigcirc + 3 \times \triangle + \square = 410 \dots \textcircled{2}$ $2 \times \bigcirc + \square = 260 \dots \textcircled{3}$</p> <p>②, ③から $\triangle = 50$ よって, みかんは50円 ①, ③から $\square = 100$</p>	4
	<p>答え</p> <p>100 円</p>	1

3

(1)	7	(2)	274	通り
	5			5
<p>式や考え方</p> <p>大人は1回で1段、2段、3段、4段のいずれかで上がることができる。 1段目、2段目、3段目、4段目までの上り方は、それぞれ1通り、2通り、4通り、8通りである。 ある段への上がり方は、その1段前、2段前、3段前、4段前から来る場合を考えればよい。 順に計算すると</p>				
(3)	5段目まで： $1+2+4+8=15$ 6段目まで： $2+4+8+15=29$ 7段目まで： $4+8+15+29=56$ 8段目まで： $8+15+29+56=108$ 9段目まで： $15+29+56+108=208$ 10段目まで： $29+56+108+208=401$ となる。			
			答え	401
				通り
				4
				1

4

(1)	0.5	(2)	ウ	(3)	カ
	4		4		4
(4)	3570	(5)	9.8	(6)	6
	m		4		4
<p>式や考え方</p> <p>1秒間での三角形の面積は4.9となっていて、 同じ1秒間での四角形の面積は$78.4 - 4.9 = 73.5$となればよいから、 図2での速さ(縦軸)が73.5になる時間(横軸)を読み取ると 落下してから7.5秒後になることがわかる。 塔の先端から自由落下をした物体は、8.5秒後に地面に到達している。 塔の高度は図2より354.025 mとなり、 小数第3位を四捨五入して354.03 mとなる。</p>					
			答え	354.03	m
					2
					4